

# 平成 28 年度山間集落实態調査の集計結果（概要版）

## <調査の枠組み>

### □調査概要

中山間地域振興施策の検討を行うため、特に過疎化及び高齢化の進展が著しい山間地域に居住する住民の日常生活の状況等の実態把握を行った。

### □調査対象集落

山間谷部奥地に位置する集落から選定（平成2年から約5年おきに同一集落を対象に調査）

（県内 16 市町、111 集落、2,485 世帯、6,766 人） ※この他、市町の要望で2集落を追加

### □調査基準日

平成28年5月1日

### □回収率

集落調査 100%（113集落/113集落※） ※111集落と追加2集落の合計

世帯調査 81.1%（2,025世帯/2,497世帯※） ※111集落2,485世帯と追加2集落12世帯の合計

## 1 人口・世帯数・高齢化率の推移《集落点検調査より》

人口・世帯数の減少及び高齢化はさらに進行し、独居世帯の比率も高まっている。

区分	平成7年	平成12年	H7との差	平成18年	H12との差	平成23年	H18との差	平成28年	H23との差
	集落人口(人)	11,006	9,620	-1,386	8,870	-750	7,844	-1,026	6,766
	100.0%	87.4%	-12.6%	80.6%	-6.8%	71.3%	-9.3%	61.5%	-9.8%
県全体	614,929	613,289	-1,640	607,012	-6,277	588,418	-18,594	573,648	-14,770
	100.0%	99.7%	-0.3%	98.7%	-1.0%	95.7%	-3.0%	93.3%	-2.4%
集落世帯数(世帯)	2,912	2,786	-126	2,736	-50	2,654	-82	2,485	-169
	100.0%	95.7%	-4.3%	94.0%	-1.7%	91.1%	-2.9%	85.3%	-5.8%
県全体	188,866	199,988	11,122	208,526	8,538	211,832	3,306	215,542	3,710
	100.0%	105.9%	5.9%	110.4%	4.5%	112.2%	1.8%	114.1%	1.9%
高齢化率(%)	28.1%	34.5%	6.4%	38.7%	4.2%	40.8%	2.1%	45.5%	4.7%
県全体	19.3%	22.0%	2.7%	24.1%	2.1%	26.3%	2.2%	29.7%	3.4%

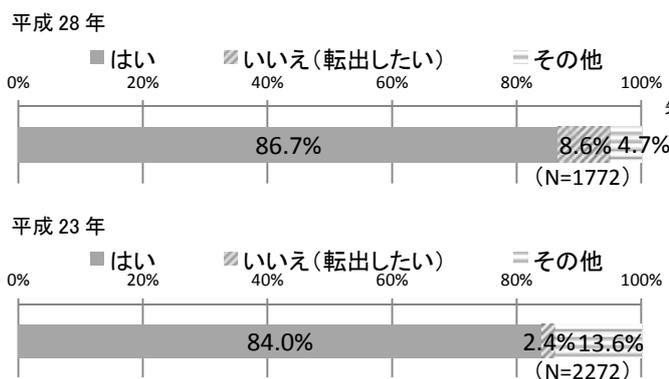
※県全体の数値は「鳥取県年齢別推計人口(平成27年10月1日現在)」、「平成27年国勢調査による人口・世帯数(速報値)」を使用

	平成18年	平成23年	平成28年
独居世帯	419	507	605
独居世帯の割合	15.3%	19.1%	24.3%

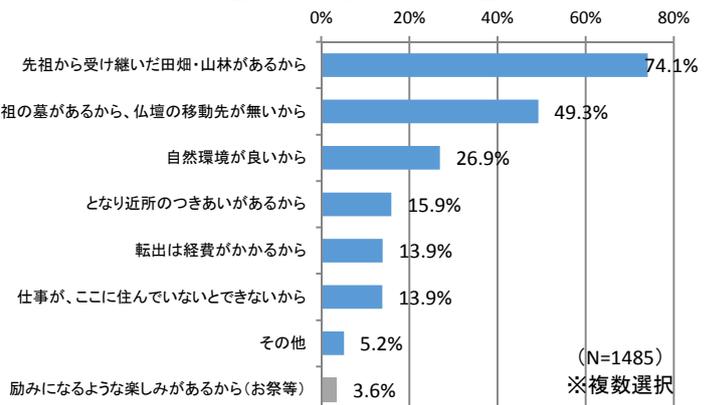
## 2 定住の意向《世帯調査より》

定住の意向は強く、先祖から受け継いだ財産の保全に対する意識は高い。

### 定住の意向



### 今後も住み続けるとした理由

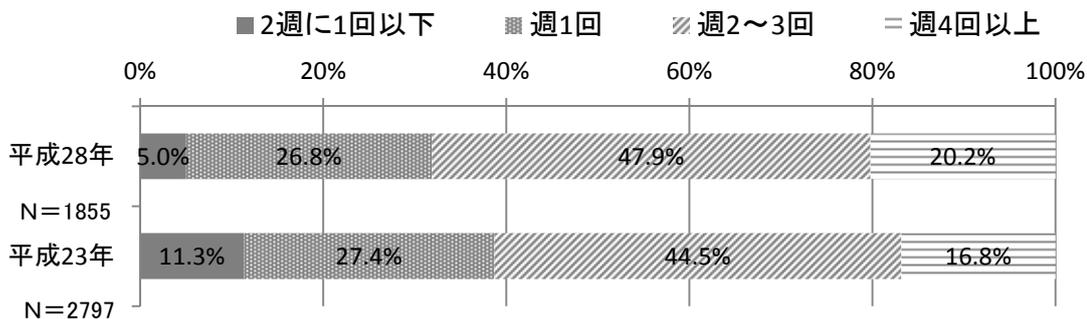


(N=1485)  
※複数選択

### 3 日常生活の状況《世帯調査より》

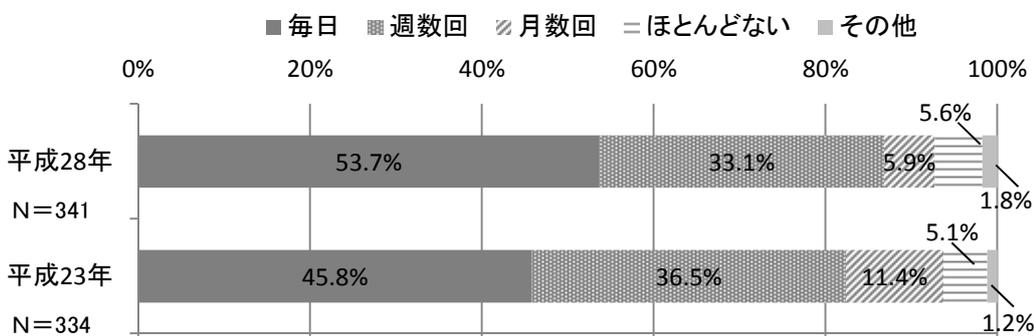
(1) 買い物の頻度について

買物頻度の低下は見られなくなっている。



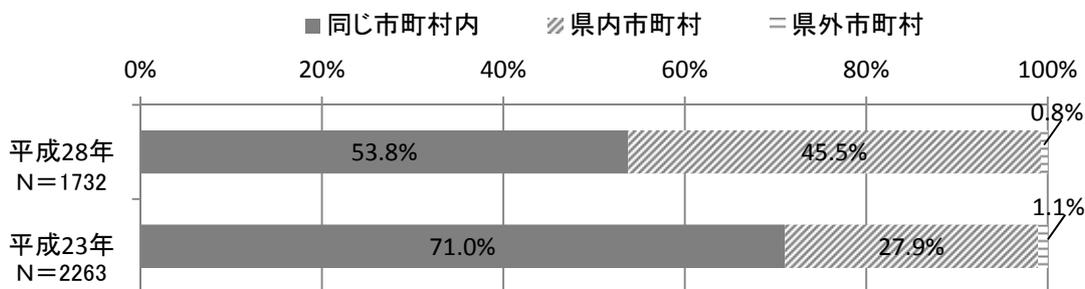
(2) 一人暮らしの方のうち、誰かと話をする機会

毎日誰かと話をしている方が増加している。



(3) 通院先について

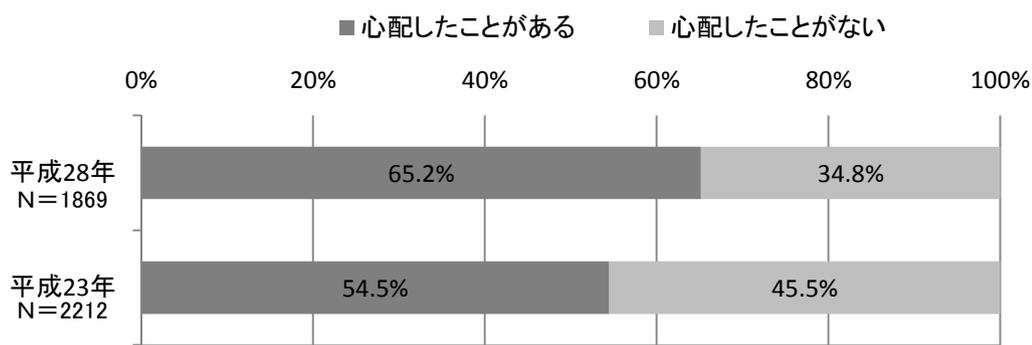
通院先が広域になっている。



### 4 住民の暮らしの安心の状況《世帯調査より》

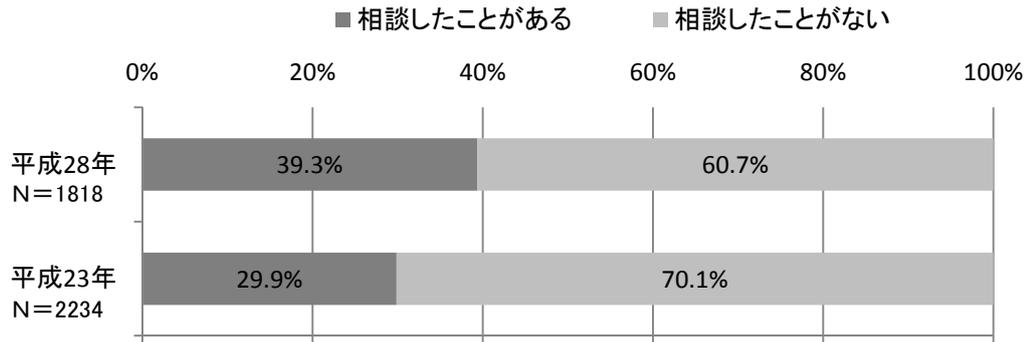
(1) 災害時（土砂崩れ、大雪など）に孤立することへの心配について

災害時の孤立に対する心配が増加している。



(2) 災害時に家族との連絡方法を相談しているかどうかについて

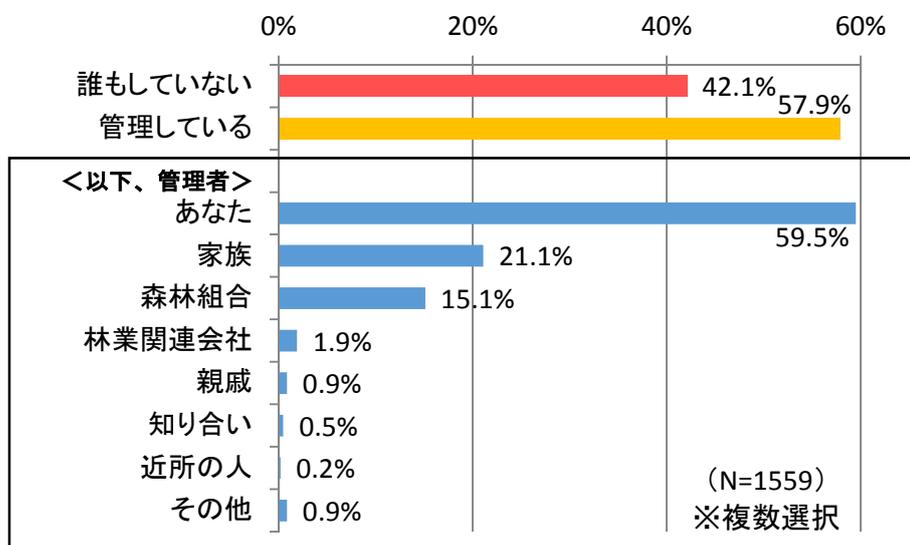
災害発生時に2次被害を防ぐため、家族との連絡方法を相談した方が増えてはいるが、4割程度にとどまっている。



## 5 財産管理の状況《世帯調査より》

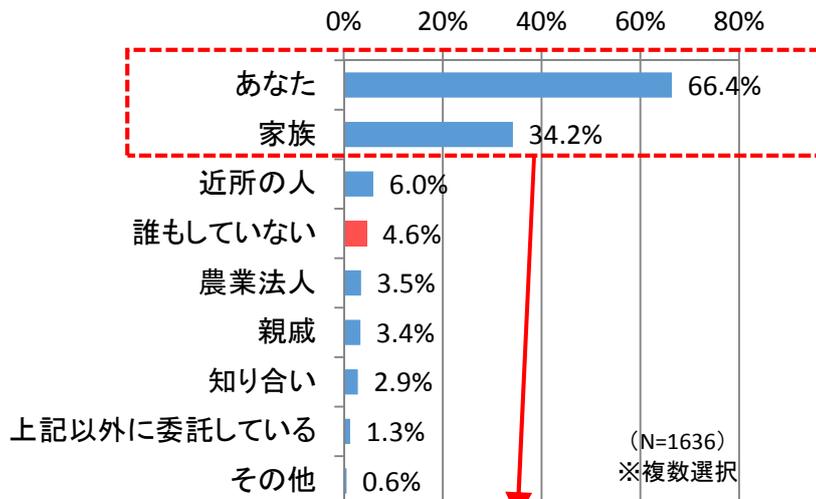
(1) 所有する山林の管理について（新規）

調査対象集落において、山林の管理を誰もしていないとの世帯が半数近くを占めている。

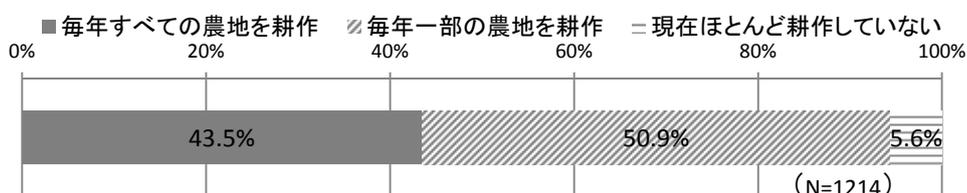


(2) 農地の耕作または管理について（農地の管理者は新規項目）

農地を誰も管理していない割合は5%ほどである。

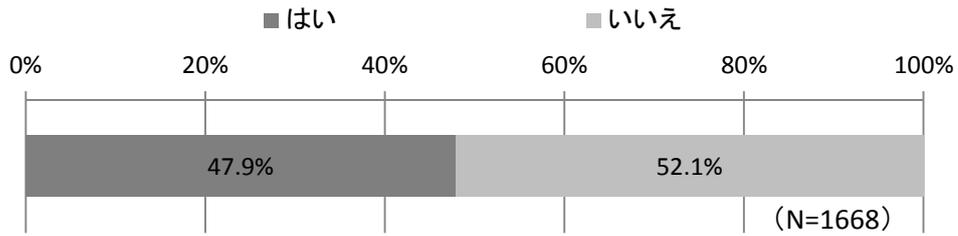


（あなた・家族が管理している場合の耕作範囲） 参考：H23 ほとんど耕作していない16%

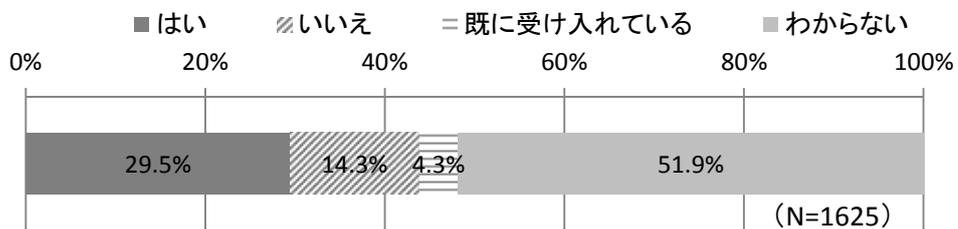


## 6 地域おこし協力隊・集落支援員《世帯調査より》

- (1) 「地域おこし協力隊・集落支援員」の制度を知っているかどうかについて（新規）  
約半数の世帯が制度の存在を知らない状況である。



- (2) 「地域おこし協力隊・集落支援員」を集落に受け入れたいかについて（新規）  
受入れに肯定的な回答が3割近くある一方で、分からないとの回答が半数近くある。



## 7 集落の運営《集落点検調査より》

集落を越えた取組の必要性について

集落を越えた取組が必要だと考える方が多くなっている。

